

## 「藤井もとゆき国会レポート」

平成30年1月

自由民主党組織運動本部本部長代理  
参議院議員・薬剤師  
藤井もとゆき

### 平成30年度政府予算案

平成30年度予算及び平成29年度補正予算の政府案は、昨年末の22日に閣議決定されました。

平成30年度の一般会計予算の歳出総額は、前年度当初予算より2581億円増の97兆7128億円と6年連続で過去最大規模となり、厚生労働省の一般会計予算総額も前年度当初予算比4389億円増の30兆6873億円となりました。

このうち社会保障関係費については、医療の約11兆6260億円、年金の約11兆8079億円など、政府全体で前年度当初予算に比べ約4997億円増の32兆9732億円となりました。概算要求時に示した高齢化等に伴う、年金・医療等の約6300億円の自然増に対しては、薬価等の通常の引き下げにより約1600億円、新薬創出適応外薬加算等促進加算の見直し等、薬価制度の抜本改革により約300億円、いわゆる大型門前薬局等の評価の適正化により約60億円を削減するなど、今回も医薬品産業界にその大部分の負担を強いることにより、社会保障費の伸びを5000億円以内に収めるところとなりました。

4月に行われる診療報酬の改定については、診療報酬本体は0.55%のプラス、医科：調剤＝1：0.3と従来通りの比率を確保することができました。また、介護報酬は0.54%、障害福祉サービス等報酬は0.47%と、いずれもプラス改定となりました。

平成30年度の政府予算案については、1月18日に召集された通常国会において審議されていますが、医療や介護の充実等、高齢者や社会的弱者が安心して暮らせる社会を築くため、しっかりと取り組んで参りたいと思います。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

## 「藤井もとゆき国会レポート」

平成30年2月

自由民主党組織運動本部本部長代理  
参議院議員・薬剤師  
藤井もとゆき

### 通常国会の開会

第196回通常国会は1月22日に招集され、衆参の本会議において安倍首相の施政方針及び財政、外交、経済担当大臣による政府4演説が行われました。

厚生労働省が、この通常国会に提出を予定している法案は8件あります。この中で最も関心を集めているのは、「働き方改革推進法案」ではないかと思えます。働き方改革について安倍首相は、「子育て、介護など、様々な事情を抱える誰もが、意欲を持ち能力を発揮できる柔軟な労働制度とするため、同一労働同一賃金の実現、長時間労働の慣行の解消など、戦後の労働基準法改正以来70年ぶりとなる、抜本的な改革を断行する」ことを表明しました。

この他、「2020年の東京オリンピック・パラリンピックを目指し、受動喫煙防止対策を徹底する」、「全ての食品事業者に、国際的なスタンダードに基づく衛生管理を義務付け、美味しい日本の農水産物の世界展開を力強く後押しする」ことなど、首相が施政方針演説で示したとおり、望まない受動喫煙の防止を図るための「健康増進法改正案」や国際基準に即して事業者自らが重要工程管理等を行う衛生管理制度（HACCP）を導入する「食品衛生法改正案」なども提出予定とされています。

また、働き方改革と並んで政府の重要な政策としている生産性革命について、革新的なサービスやビジネスモデルにチャレンジできる、規制のサンドボックス制度の創設を盛り込んだ「生産性向上特別措置法案」や革新的なイノベーションに挑戦する企業の法人税負担軽減を盛り込んだ「所得税法等改正案」も、経済産業省、財務省から提出予定とされています。

今国会での重要法案の一刻も早い成立に尽力して参りたいと思います。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>